



"Happiness Helps Healing"



- ・ごあいさつ
- ・7月～9月の活動報告
- ・活動病院からのメッセージ
- ・トピックス
- ・病棟の風景から
- ・TOOTH FAIRY プロジェクト紹介
- ・コラム～支援のハート2～
- ・北海道地区コーディネーターより
- ・団体概要アップデート



ごあいさつ

例年がない猛暑続きの夏休みが終わり、ひと月が経ちました。夏休みこそ、どこにも遊びに行けない子どもたちのために病棟に来てほしいという要望をいただき、毎年お盆休みをいただいていたことを反省。たくさんの笑顔に会うことができ、必要とされていることへの感謝を新たにしました。

今年3月に月1回の頻度で開始した淀川キリスト教病院こどもホスピスでの活動は、7月から月に2回に増え、8月には北海道大学病院の月1回定期訪問、北海道立総合医療・療育センターの不定期訪問を開始しました。

また、9月には千葉県こども病院で月1回の活動を開始し、病棟へ、ベッドサイドへ本格的なアートを届ける活動が全国17カ所に広がりました。ひとえに会員のみならず、ご寄付くださるみなさまのご支援のおかげと、心より感謝いたします。今号では、静岡県立こども病院よりいただいたコメント、そして昨年に引き続き活動に協力いただいている日本歯科医師会と日本財団による「TOOTH FAIRY プロジェクト」についての紹介、また、地道に開始への足固めをし、ついに活動が実現した北海道より地区コーディネーターによる報告を掲載、さらに、第4号に続き、コラム支援のハート2をお届けします。

7月から9月までの活動報告と合わせ、最後までお読みいただければ幸いです。

スマイリングホスピタルジャパン 代表理事 松本 恵里



7月15日（水）神奈川県立こども医療センターにて
細胞アーティスト Ouma さんによる「みんなで巨大アート製作」

●2015年7月～9月の活動報告

月/日	曜	活動場所	活動内容	担当者
7/1	水	神奈川県立こども医療センター長期内科病棟	お姉さんとお兄さんの歌と踊りのショー	ゆう子&しょうた
7/6	月	日赤医療センター 小児病棟	モンスターになろう	佐々木優子
7/8	水	淀川キリスト教病院ホスピス 子どもホスピス	ピアノ演奏とリズムを感じよう	豊雅子
7/10	金	神奈川県立こども医療センタークリーン病棟	手形スタンプアート	坂本和美
7/13	月	日赤医療センター 小児病棟	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
7/13	月	日赤医療センター 小児病棟 附属乳児院	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
7/14	火	慶應義塾大学病院 3N小児病棟	ペーパークラフトワークショップ	天羽ひさ子
7/15	水	神奈川県立こども医療センター長期内科系病棟	みんなで巨大アートに挑戦!	Ouma
7/15	水	大阪市立総合医療センター小児病棟	コミック大道芸	野末隼
7/15	水	京都大学病院 小児病棟	コミックマジック&ジャグリング	たつきゆうさん
7/15	水	北海道立子ども総合医療・療育センター	ドラムサークルでお誕生会	米澤倫子 松本ゆかり
7/16	木	慶應義塾大学病院 5S小児病棟	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
7/17	金	北海道大学病院 小児病棟	ドラムサークル	米澤倫子
7/22	水	淀川キリスト教病院ホスピス 子どもホスピス	ピアノ演奏とリズムを感じよう	豊雅子
7/24	金	神奈川県立こども医療センター内科病棟	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
7/27	月	日赤医療センター 小児病棟	英語で遊ぼう&マジック教室	クラウディ
7/27	月	静岡県立こども病院	打楽器でリズム遊び&お話し	鈴木知子
7/28	火	宮城県立こども病院	キーボード演奏会	トッティ
8/3	月	日赤医療センター 小児病棟	お姉さんとお兄さんの歌と踊りのショー	ゆう子&しょうた
8/3	月	日赤医療センター 小児病棟 附属乳児院	お姉さんとお兄さんの歌と踊りのショー	ゆう子&しょうた
8/5	水	淀川キリスト教病院ホスピス 子どもホスピス	ピアノ演奏とリズムを感じよう	豊雅子
8/5	水	神奈川県立こども医療センター内科病棟	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
8/10	月	日赤医療センター 小児病棟	塗り絵 コラージュ	真鍋麻里
8/11	火	慶應義塾大学病院 3N小児病棟	お姉さんとお兄さんの歌と踊りのショー	ゆう子&しょうた
8/14	金	大阪市立総合医療センター小児病棟	親子で楽しむボサノバ!	Satoko
8/18	火	淀川キリスト教病院ホスピス 子どもホスピス	ピアノ演奏とリズムを感じよう	豊雅子
8/19	水	京都大学病院 小児病棟	親子で楽しむボサノバ!	Satoko
8/19	水	東京大学医学部附属病院 小児病棟	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
8/20	木	慶應義塾大学病院 5S小児病棟	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
8/21	金	北海道大学病院 小児病棟	音楽とお話の会	米澤倫子 松本ゆかり
8/24	月	日赤医療センター 小児病棟	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
8/24	月	石巻赤十字病院小児病棟	ウクレレ, リコーダーに合わせてリズム	穴戸素子
8/25	火	宮城県立こども病院	バイオリン演奏会	小野由紀子
8/28	金	神奈川県立こども医療センター児童思春期精神科病棟	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
8/31	月	日赤医療センター 小児病棟	モンスターになろう	佐々木優子
9/2	水	神奈川県立こども医療センター長期内科系病棟	英語で遊ぼう&マジック教室	クラウディ
9/2	水	東京大学医学部附属病院 小児病棟	マジック ジャグリング&バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
9/5	土	神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設	紙芝居ミュージカル隊がやってきた!	もっくんぽっと
9/7	月	日赤医療センター 小児病棟	弾き語り&なんでもリクエスト	眞理さん
9/7	月	千葉県こども病院	うたとピアノの演奏会	矢田美麗
9/8	火	慶應義塾大学病院 3N小児病棟	みんなでボサノバ!	Satoko & Friends
9/10	木	療育室つばさ	ことばとおとの読み聞かせ	トッテカルーソ
9/11	金	神奈川県立こども医療センター肢体不自由児施設	読み聞かせの会	平沢ゆかり
9/14	月	日赤医療センター 小児病棟	英語で遊ぼう&マジック教室	クラウディ
9/14	月	淀川キリスト教病院ホスピス 子どもホスピス	ピアノ演奏とリズムを感じよう	豊雅子
9/16	水	神奈川県立こども医療センター長期内科系病棟	マジック ジャグリング&バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
9/16	水	京都大学病院 小児病棟	民族楽器でリズム遊び	すみ&かける
9/16	水	東京大学医学部附属病院 小児病棟	ちぎり絵ワークショップ	Laki Ohana
9/17	木	慶應義塾大学病院 5S小児病棟	おはなしの世界であそぼう	近藤麻智子
9/18	金	北海道大学病院 小児病棟	音楽とお話の会	米澤倫子 松本ゆかり
9/25	金	神奈川県立こども医療センター乳幼児内科病棟	こどもジャズ&音楽会	石橋和子
9/28	月	日赤医療センター 小児病棟	マジック ジャグリング&バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
9/28	月	日赤医療センター 附属乳児院	マジック ジャグリング&バルーンアート	NIKONIKO 大使ガイ
9/28	月	静岡県立こども病院	マトリオン演奏会	岡 瑠美
9/29	火	宮城県立こども病院	木琴演奏会	もっくんバード

●活動病院からのメッセージ

静岡県立こども病院 地域医療連携室
ボランティアコーディネーター 藪崎和美

静岡県立こども病院には平成 27 年 4 月から、内科系 2 病棟、外科系 2 病棟を毎月交互に訪問いただいています。こどもたちが楽しい時間を過ごせるよう、アーティストの皆さんは時には声を枯らしながら全力で活動してくださっています。アーティストがみえると、いったい何が始まるのかとこどもたちは興味津々でプレイルームに集まって来ます。「音楽あそび」では好きな楽器を手に取り自由に鳴らし始めますが、初めはバラバラだった音がアーティストの声掛けで次第にまとまっていき、最後にみんなの音が一つに揃うと歓声が上がりました。反応がないと思っていた子がオルゴールの音に目をぱっと輝かせるのを見てご家族が感動されたり、笑顔を見せることが少なかった子が楽しそうに参加している様子を見て、病棟職員が「あんなに笑える子なんだ」と気づき、その後のケアの参考にしていくこともあります。継続的に訪問いただいているので、参加できなかった子は次回は参加したいと目標を持つことができている。みんなのこどもらしい時間を引き出していただきありがとうございます。来月もお待ちしています！

●トピックス

- 7月4日(土) FIAT BIRTHDAY FESTA 2015 (静岡県朝霧ジャンボリーオートキャンプ場にて)に参加しました。
- 7月8日(水) 大阪市淀川キリスト教病院こどもホスピスにて活動回数が月2回に増えました。
- 7月15日(水) FM横浜でSHJを紹介しました。
- 7月15日(水) 北海道立子ども総合医療・療育センターにて不定期活動を開始しました。(後半に記事掲載)
- 7月17日(金) 北海道大学病院小児病棟にて定期活動を開始しました。(毎月第3金曜日)(後半に記事掲載)
- 8月19日(水) 東京大学医学部附属病院各小児病棟にて定期活動を開始しました。(毎月第1、3水曜日)
- 9月7日(月) 千葉県こども病院にて定期活動を開始しました。(毎週第1月曜日)
- 9月30日(水) 2014年度決算

～トピックスより一部紹介します～



毎年7月第1週末に行われるスポンサーFIAT イベント。今年には静岡 SHJ の音楽活動担当、鈴木知子 & 浅倉律子がドラムサークルで、SHJ 関西のコミックジャグラーたつきゆうさんと田久朋寛がバルーンアートで参加。荒天の中でも笑顔いっぱい！SHJ アーティストの臨機応変さは病棟だけではなく、テントの下でも盛り上げていました。



今年3月に開始した淀川キリスト教病院こどもホスピス。7月から毎月第2、4水曜日の2回に！写真は音楽療法の豊雅子による音楽・リズムあそびの会。子どもたちの体調に合わせた活動の工夫が大変喜ばれています。

9月7日(月)より、千葉県こども病院に毎月第1月曜日に定期訪問することになりました。初回は千葉地区コーディネーターとしても活動する矢田美麗が自らピアニスト音楽家として小児病棟を訪れました。透き通る声、楽しいおしゃべりが好評でした。千葉県こども病院へも音楽の他、たくさんのアーティストがスタンバイ！



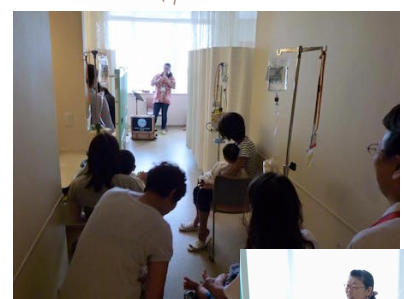
●病棟の風景から～

～心温まるエピソードと共に一部紹介します～



8月11日、慶應義塾大学病院にて「ゆう子お姉さんと翔太お兄さんの歌と踊りとお話の会」明るく元気な歌と踊りとトークに子ども達は大喜びで、付き添いの方たちも笑顔と一緒に楽しんでいました。子ども達はすぐにお兄さんお姉さんに引き込まれ、歌やお話、紙芝居の音が廊下まで響き、プレイルームの外にはご家族や病院スタッフも集まって来るほどの盛況ぶりでした。慶應病院で開始して半年が経ち、病棟にてSHJの定期活動が定着し、毎回を楽しみにしてくださっています。

8月14日、大阪市立総合医療センターにて「親子で楽しむボサノバコンサート」SHJ 関東のシンガーソングライターSatokoと、SHJ 関西の打楽器奏者西純江のコラボレーション。曲目は「イバネマの娘」～「さんぽ」～「Tristeza」など。ギター、キーボードそしてカホンの演奏と歌に合わせてリズムをとったり口ずさんだり、みんなでノリノリ！楽器・真琴を触ったりカホンを叩いたりしながらのおしゃべりにも花が咲き、そのうちバンド仲間のような一体感が生まれ大変盛り上がりました。夏の忘れられない思い出になりました。



8月24日 石巻赤十字病院にて「宍戸素子のウクレレ、リコーダー演奏会」。抑揚のある歌声と楽器の奏でる音色がたくさんの子どもたちやご家族を惹きつけました。ここでも、毎日ベッドで過ごす子どもたちに変化を、との思いで、アーティストたちが毎回いろんな楽器を持ち込み、笑顔を届けています。

●Special Thanks to 日本歯科医師会&日本財団

～「TOOTH FAIRY」プロジェクトとは?～



公益社団法人日本歯科医師会の協賛により日本財団が実施する歯の妖精「TOOTH FAIRY」プロジェクト。西洋では抜けた乳歯を枕元に置いて寝ると夜中に歯の妖精 TOOTH FAIRY がこっそりその歯をもらいにきて、お礼にプレゼントと交換していくと伝えられています。歯の治療を終えて役目を終えた金属も、子どもたちを喜ばせる素敵なプレゼントにかえられたら、という願いからこのプロジェクトは始まりました。

この活動に共感した歯科医師と患者が、治療上撤去した不要な冠などの金属を寄付し、その中に含まれる金、銀、パラジウム、プラチナをリサイクルした資金が貧困や重い病気と闘う子どもたちを支援するために使われています。

このうち「難病の子ども支援プロジェクト」として以下の団体とパートナーシップのもと、スマイリングホスピタルジャパンも取り組みの一員として支援を受けて活動しています。

施設の建設・改修

- ・小児がん専門施設建設
- ・小児レスパイト施設の改修

公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金
一般社団法人奈良親子レスパイトハウス

子どもと家族に外で遊べる機会を

- ・難病児専用キャンプ場の整備
- ・大自然の中でのキャンプ実施
- ・小児糖尿病キャンプの実施
- ・難病を持つ子どもと家族に夢を

公益財団法人そらぶちキッズキャンプ
特別非営利活動法人難病のこども支援全国ネットワーク
公益社団法人日本糖尿病協会
公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を

入院・在宅治療中の子どものケア

- ・訪問型レスパイトサービスの提供
- ・アートによるレスパイト提供
- ・クリニック라운の育成

一般社団法人こどものホスピスプロジェクト
特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン
特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会

など

かかりつけの歯医者さんに、TOOTH FAIRY の活動をご紹介します！
このプロジェクトについての詳細は以下のサイトにてご覧ください。
ToothFairy プロジェクト ウェブサイト: <http://tooth-fairy.jp>

●コラム～支援のハート2

東京都立永福学園（肢体不自由特別支援学校）
教諭 松本 健太郎

長期に入院していたり、障がいがあったり、様々な困難な状況に置かれていても、「子どもたちは、教育によって自分の能力を最大限に伸ばすこと」が国内の法律や国際条約で保障されています。大人たちの最も重要な仕事は、子どもたち一人一人が、自分自身で試行錯誤しながらその能力を最大限に伸ばせるような最良の教育環境を提供することです。一方で「子どもが将来羽ばたいていく社会は厳しく、決して配慮のある環境ではないので、在学中からそのような環境に早く慣れさせたほうが良い」ということを耳にすることがあります。また昨今、社会全体として、早期から子どもを社会に合わせていくような傾向を強く感じます。

先日、大学院に通う聴覚障がいの方と話す機会があり深く考えさせられました。その方は、ろう学校の幼稚部に在籍後、小学校からは、特別支援学校でなく一般の学校に通いました。そのため、手話でなく、口話（相手の話す言葉を口の動きで理解し、自らも音声言語を用いて意思伝達を行うこと）で過ごされました。「苦労が多かったですね」とお話しすると、「実は困ったことは一度もなかったんです。でも、ここへ来て情報保障（障がいのある人にわかりやすく情報を伝えること）の支援を受けるようになってから、いかに今まで自分が何もわかっていなかったか良くわかりました」と伝えてくれました。

その大学院では、困難さのある学生のために様々な支援をしています。情報保障もその一つで、聴覚障がいの方には、授業で先生が話す内容を専門の支援者がパソコンを使って逐次タイプしプロジェクターで表示します。授業だけでなく入学式も、懇親会の時も同様の支援がなされます。口話は、話している人の口元が見えなければ使えません。また、集中しなければならぬので疲れます。そのため、聞こえる人たちと同じようには、自分の周りでは何を話しているのかなどの情報が十分に受信できません。もちろん、彼女は努力と才能で困難さをカバーできたと思えますが、このエピソードは、適切な支援を受けた経験がないと何に自分が困っているのか、そして自分が社会参加するためには、どのような支援が必要なのか、気づかないし、わからない、ということ伝えてくれます。彼女の場合、情報を保障されて初めて今まで自分がいかに情報の保障されない環境に置かれていたかわかったわけです。まとめると「適切な環境で過ごしたことがある人のみが自分にどのような支援が必要かわかる」ということですが、当事者の方の言葉なので説得力があります。

「障がいがある子どもも、ない子どもも、子どもたちは皆、最良の環境で能力を伸ばし、その伸ばした力を持って社会に出て行く」これは恩師の言葉ですが、子どもを取り巻く大人たちが皆大切にしなければならないことと考えます。



★スマイリングホスピタルジャパン 北海道地区 始動！！★

北海道地区コーディネーター 米澤 倫子

2015年7月、北海道地区でのスマイリングホスピタルの活動が始まりました。活動開始に至るまでには長い道のりがあり、たくさんの方との出会いがありました。なによりもSHJの活動に共感して、繋いでくださった方々には深く感謝します。

現在、北海道のアーティストは5名、付き添いボランティア登録者1名を含む総勢6名で、札幌にある北海道大学病院小児科病棟を中心に定期活動を開始しました。メンバーはイラストレーター・三味線奏者・笑いヨガ・音楽活動・音楽遊び等で活躍するアーティスト達です。たまたま全員顔見知りではありませんが、直接会う機会はありません。メンバーの交流の場としてフェイスブックを活用し、アーティストの予定組み・連絡事項の伝達はもちろんのこと、アーティスト同士の情報交換の場にもなっています。

この活動を始めるにあたり、代表から病院との密な連絡についてアドバイスをいただきました。

「自己判断ではなく必ず確認！」
なので少しでも？が頭をよぎった時には病院側や代表に連絡することを心がけています。
そして活動から2か月たちました。まだまだ準備の手際がスムーズではなくあたふたしておりますが、子どもたちがワクワクしながらプレイルームに入ってくる姿は私達の喜びになります。



北海道立子ども総合医療・療育センター

「コドモックル」にて

こちらの病院は養護学校が隣接しています。長期入院の子どもが多いので院内にある連絡通路を使って学校へ通います。この日は入退院式とお誕生会があり、その中でドラムサークルを実施。保育士さんたちを含めた45名がその時間を一緒に楽しみました。



北海道大学病院 小児科病棟にて

定期活動場所として実施させていただいています。毎回年齢層も人数もバラバラですが、その時の参加してくれる子どもたちの様子に合わせて提供できるものと考えていくつかの事前準備をしています。

今後のSHJ北海道の目標。

それは全道にこの活動を広げていくことです。ご存じのとおり北海道はとても広いです。そして各地域に大きな病院があります。入院中の子どもたちの笑顔が広がっていくように、スマイリングの活動を広げていくお手伝いができたらと思っています。

そしてアーティストさんも募集中です。皆さんのお知り合いで北海道で活動しているアーティストさんがいましたら是非ご紹介ください。






これから北海道の秋はすぐにおわり、雪の季節になります。私達も常に自分の体調管理をしながらたくさんの入院中の子どもたちに楽しい時間を届けられるように北海道メンバー、連携をとって活動していきます。



SHJ北海道のアーティスト・アシスタントボランティアのみなさんです。
全国の仲間の皆様、今後ともどうぞよろしくお願ひします！

(左端：北海道地区コーディネーター米澤倫子)

●スマイリングホスピタルジャパン概要 (2015年9月30日現在)

名称	特定非営利活動法人スマイリング ホスピタル ジャパン (略称: SHJ)			
所在地	〒168-0072 東京都杉並区高井戸東 3丁目 3番 15-308 電話/Fax: 03-6765-6883 その他連絡先: 090-8894-2640			
活動目的	入院闘病中の子どもたちが、わくわくするような楽しい時間を繰り返し持つことで、闘病意欲や生きる喜びを持ち続け、回復に向けての活力を得られるよう、QOLの向上に寄与することを目的とする。			
活動内容	美術、音楽、マジック等のプロの芸術家が小児病院の病棟、病室を訪問し、クラフトワークショップ、マジック、音楽会などを催す。子どもたちが活力や自信を取り戻せるように、作る、手品を覚える、一緒に歌う、など参加型の活動にする。見通しを持って楽しみにできるように、定期的な活動とする。 活動例: 2時間の訪問時間中、前半は病室を出られる子ども対象に病棟プレイルームにて集団の活動、後半は病室、病床にて活動可能な子どもと個別活動をする。			
活動方針	<ul style="list-style-type: none"> ・個別訪問 一人ひとりを大切に。 ・参加型活動 受身ではなく子ども自身が主体的に。 ・定期訪問 見通しを持って活動を楽しみにできるように。 ・本物のアート 質の高いクリエイティブな活動を。 			
活動場所	神奈川県立こども医療センター各病棟 神奈川県立こども医療センター肢体不自由児施設 重症心身障害児施設 日本赤十字医療センター小児病棟 京都大学医学部附属病院小児病棟 日本赤十字医療センター附属乳児院 宮城県立こども病院各病棟 石巻赤十字病院小児病棟 大阪市立総合医療センター各小児病棟 療育室つばさ 慶応義塾大学病院各小児病棟 淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院 静岡県立こども病院各病棟 北海道道立子ども総合医療・療育センター 北海道大学病院小児病棟 東京大学医学部附属病院各小児病棟 千葉県こども病院各病棟			
役員	代表理事	松本 恵里	理事	高橋 精一
	副代表理事	三原 典子	理事	谷口 幸路
			監事	神津 理絵
地区 コーディネーター	北海道: 米澤倫子 京都: 田久朋寛 岡山: 三好祐也	仙台: 穴戸素子 大阪: 西 純江 統括コーディネーター: 三原 典子	石巻: 千葉淳子 静岡: 鈴木知子	千葉: 矢田美麗 東京・神奈川: 松本恵里
事務局 運営ボランティア	13名			
正会員	15名			
サポート会員	115名 6団体			
アーティスト ボランティア	67名			
E-mail	info@smilinghpj.org			
ホームページ	http://www.smilinghpj.org			
銀行口座	ゆうちょ銀行 名義: 特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 記号: 10090 番号: 74039541 みずほ銀行 名義: 特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン 支店: 浜田山支店 預金種目: 普通預金 口座番号: 1950697			
寄付	延べ 101件			
協賛	FCA ジャパン株式会社 日本歯科医師会 日本財団 在日米国商工会議所			
				
				

**サポート会員、アーティスト・事務局・活動アシスタントボランティア
常時募集中！詳しくはホームページをごらんください。**

去年12月の第3号より季刊となりました。活動報告、団体の概況と合わせ、入院している子どもたちの現状や課題もテーマに、今後さらに内容を充実させて参ります。

引き続き、SHJの活動を温かく見守ってくださるよう、よろしくお願ひいたします。

サポート会員常時募集中です。お近くの方にSHJの活動についてお話しただければ幸いです。

スマイリングホスピタルジャパン 事務局